

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場会社名 ハリマ共和物産

上場取引所 大

コード番号 7444 URL <http://www.harimakb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津田 隆雄

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 津田 信也

TEL 079-253-5217

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	26,142	3.4	905	1.6	1,176	△1.3	654	0.4
21年3月期第3四半期	25,284	—	891	—	1,191	—	651	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	124.64	—
21年3月期第3四半期	123.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	16,763	8,565	51.1	1,632.53
21年3月期	15,902	8,028	50.5	1,526.45

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,564百万円 21年3月期 8,028百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				20.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,570	4.2	1,160	1.1	1,540	1.5	820	3.9	155.90

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 5,441,568株 21年3月期 5,441,568株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 195,638株 21年3月期 181,686株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 5,250,394株 21年3月期第3四半期 5,274,250株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務情報等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部企業で景気回復の兆しが見られるものの株価の低迷が続くなど、国内景気の先行きに対しては不透明感が払拭されない状況から抜け出せないままに推移しました。失業率が高く雇用環境も依然として改善されないまま、個人消費も伸び悩むなど、先行きが見通せない厳しい状況が続いております。

当流通業界におきましては、インフルエンザ関連商品が一服し、新たな市場を喚起する商品の無いまま、消費マインドは低調なまま推移しました。

このような状況のもと当社グループは、事業の2本柱である卸売事業と物流関連事業への効率的な経営資源投下を行い、収益性の確保に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高26,142百万円(前年同期比103.4%)、営業利益905百万円(前年同期比101.6%)、経常利益1,176百万円(前年同期比98.7%)、四半期純利益654百万円(前年同期比100.4%)となりました。

当第3四半期連結累計期間における事業の種類別セグメントの内容は次のとおりであります。

《卸売事業》

卸売事業におきましては、販売価格に変化は無いものの個人消費は依然として低迷し、商圏の広域化および新規顧客獲得などの売上拡大に注力することにより、売上高は22,033百万円(前年同期比103.1%)となりました。

《物流関連事業》

物流関連事業におきましては、新規の物流受託獲得に努める一方、既存取引先の商品価格の低下に伴う手数料単価の減少の影響があるものの取扱物量は安定的に増加し、売上高は4,095百万円(前年同期比104.8%)となりました。

《その他の事業》

その他の事業は、売上高14百万円(前年同期比94.1%)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期連結会計期間末における総資産は、16,763百万円となり、前連結会計年度末比860百万円の増加となりました。その主な要因は、手元資金を厚くするために行なった長期借入金の実施による現預金の増加額369百万円と売掛金の増加額742百万円によるものであります。なお、純資産は8,565百万円となり、自己資本比率は51.1%と前連結会計年度とほぼ同水準を維持しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は1,718百万円となり、前連結会計年度末と比較して184百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、474百万円(前年同期比792.1%)となりました。これは主に売上債権の増加や法人税等の支払額の増加があるものの税金等調整前四半期純利益が増加したこと及び仕入債務の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用した資金は333百万円(前年同期は130百万の獲得)となりました。これは主に有形固定資産の取得及び投資有価証券の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって得られた資金は42百万円(前年同期比27.1%)となりました。これは主に長期借入の収入によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行なっておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しく変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計上基準等

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,879,311	1,695,026
受取手形及び売掛金	5,948,469	5,205,743
商品	1,425,024	1,466,018
その他	346,908	454,265
貸倒引当金	△7,121	△5,886
流動資産合計	9,592,592	8,815,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,677,825	1,780,566
土地	3,808,511	3,808,511
その他(純額)	259,398	222,027
有形固定資産合計	5,745,736	5,811,105
無形固定資産	77,480	79,079
投資その他の資産	1,347,301	1,197,485
固定資産合計	7,170,518	7,087,671
資産合計	16,763,111	15,902,839
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,855,191	2,646,950
短期借入金	2,728,544	2,806,800
未払法人税等	272,560	258,751
賞与引当金	73,992	51,397
その他	669,333	760,991
流動負債合計	6,599,622	6,524,891
固定負債		
長期借入金	758,236	521,810
退職給付引当金	288,074	285,021
役員退職慰労引当金	173,048	164,257
その他	378,269	377,897
固定負債合計	1,597,627	1,348,986
負債合計	8,197,250	7,873,878

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	719,530	719,530
資本剰余金	690,265	690,265
利益剰余金	7,637,130	7,087,941
自己株式	△172,532	△162,329
株主資本合計	8,874,393	8,335,407
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	16,403	20,203
土地再評価差額金	△326,649	△326,649
評価・換算差額等合計	△310,245	△306,446
少数株主持分	1,713	—
純資産合計	8,565,860	8,028,961
負債純資産合計	16,763,111	15,902,839

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	25,284,250	26,142,876
売上原価	21,811,552	22,703,534
売上総利益	3,472,698	3,439,341
販売費及び一般管理費	2,581,437	2,533,941
営業利益	891,261	905,399
営業外収益		
受取利息	9,271	7,442
受取配当金	5,125	5,194
仕入割引	225,032	232,003
その他	107,846	65,793
営業外収益合計	347,276	310,434
営業外費用		
支払利息	33,389	25,398
売上割引	11,639	12,510
その他	1,838	1,698
営業外費用合計	46,867	39,607
経常利益	1,191,670	1,176,226
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	750
固定資産売却益	339	1,123
特別利益合計	339	1,873
特別損失		
固定資産除却損	34,396	1,099
リース解約損	2,308	—
たな卸資産評価損	5,187	—
特別損失合計	41,892	1,099
税金等調整前四半期純利益	1,150,117	1,177,000
法人税等	498,121	520,900
少数株主利益	—	1,713
四半期純利益	651,995	654,386

(第3四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	8,551,621	8,437,077
売上原価	7,391,811	7,338,987
売上総利益	1,159,810	1,098,089
販売費及び一般管理費	850,914	845,782
営業利益	308,895	252,307
営業外収益		
受取利息	3,459	2,093
受取配当金	835	902
仕入割引	71,116	74,081
その他	18,921	15,945
営業外収益合計	94,332	93,022
営業外費用		
支払利息	10,939	8,114
売上割引	3,726	4,147
その他	58	—
営業外費用合計	14,723	12,262
経常利益	388,504	333,067
特別損失		
固定資産除却損	34,294	838
特別損失合計	34,294	838
税金等調整前四半期純利益	354,209	332,229
法人税等	153,092	129,771
少数株主利益	—	1,524
四半期純利益	201,117	200,933

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,150,117	1,177,000
減価償却費	175,753	177,740
のれん償却額	21,428	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,485	803
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,502	22,594
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,547	3,052
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△269,205	8,790
受取利息及び受取配当金	△14,396	△12,637
支払利息	33,389	25,398
有形固定資産売却損益(△は益)	△339	△1,123
固定資産除却損	34,396	1,099
売上債権の増減額(△は増加)	△785,743	△742,725
たな卸資産の増減額(△は増加)	238,134	40,994
仕入債務の増減額(△は減少)	26,916	208,241
未払消費税等の増減額(△は減少)	△37,005	△32,115
その他	134,526	107,111
小計	728,535	984,224
利息及び配当金の受取額	7,233	7,511
利息の支払額	△33,459	△24,040
法人税等の支払額	△642,375	△492,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,934	474,743
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△108,037	△198,081
定期預金の払戻による収入	107,992	298,037
有形固定資産の取得による支出	△76,832	△164,506
有形固定資産の売却による収入	1,560	1,428
無形固定資産の取得による支出	△21,209	△27,315
投資有価証券の取得による支出	△3,910	△154,191
貸付けによる支出	—	△950
貸付金の回収による収入	1,036	1,014
保険積立金の積立による支出	△18,614	△38,032
保険積立金の解約による収入	254,695	17,836
出資金の払込による支出	—	△69,361
その他の支出	△7,728	△2,009
その他の収入	1,660	2,831
投資活動によるキャッシュ・フロー	130,612	△333,299
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	23,800,000	20,750,000
短期借入金の返済による支出	△23,100,000	△21,050,000
長期借入れによる収入	—	900,000
長期借入金の返済による支出	△437,302	△441,830
配当金の支払額	△89,282	△105,170
自己株式の取得による支出	△15,650	△10,202
財務活動によるキャッシュ・フロー	157,765	42,796

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	348,312	184,240
現金及び現金同等物の期首残高	778,225	1,534,560
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,126,537	1,718,800

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)

	卸売事業 (千円)	物流関連事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,132,690	1,414,182	4,747	8,551,621	—	8,551,621
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	585	24,446	—	25,031	(25,031)	—
計	7,133,276	1,438,629	4,747	8,576,652	(25,031)	8,551,621
営業利益	104,026	279,518	4,102	387,647	(78,751)	308,895

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)

	卸売事業 (千円)	物流関連事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,041,088	1,391,240	4,747	8,437,077	—	8,437,077
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,137	14,848	—	16,986	(16,986)	—
計	7,043,226	1,406,089	4,747	8,454,063	(16,986)	8,437,077
営業利益	88,275	249,887	4,112	342,275	(89,967)	252,307

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	卸売事業 (千円)	物流関連事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	21,361,715	3,907,392	15,142	25,284,250	—	25,284,250
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,728	70,675	—	73,403	(73,403)	—
計	21,364,443	3,978,067	15,142	25,357,654	(73,403)	25,284,250
営業利益	425,124	686,205	13,206	1,124,536	(233,275)	891,261

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	卸売事業 (千円)	物流関連事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	22,033,555	4,095,078	14,242	26,142,876	—	26,142,876
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,577	64,911	—	71,489	(71,489)	—
計	22,040,132	4,159,990	14,242	26,214,365	(71,489)	26,142,876
営業利益	434,987	695,047	12,332	1,142,367	(236,967)	905,399

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- (1) 卸売事業・・・石鹼、洗剤、油脂加工品、化粧品、衛生用品、医薬部外品、日用雑貨品、紙類及び加工紙、包装用資材等の卸売業等
- (2) 物流関連事業・・・受託物流事業、運送取扱業
- (3) その他の事業・・・不動産賃貸等

3. 会計処理の方法の変更

前第3四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」(1)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益が、卸売事業で2,609千円減少しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。